

余白と充滿



き はら こう い わ か ばやし けい ちく 木原光威 × 若林溪竹 展

2025年
5月31日 土 - 6月29日 日

開館時間：10:00 - 20:00 (入館受付19:30まで)

休館日：月曜日

会場：みつけ市民ギャラリー(ギャラリーみつけ)2階フロア

主催：見附市／後援：新潟県書道協会・新潟県美術家連盟・三条美術協会・見附市美術協会・新潟日報社・(株)三條新聞社・見附新聞社
協力：大輪堂

■作家によるギャラリートーク(3回開催)

5月31日 土 木原×若林によるフリートーク

6月 7日 土 木原光威ギャラリートーク

6月22日 日 若林溪竹ギャラリートーク

いずれも14:00-15:00 会場：2階フロア

定員：80名 先着順 要申込み 参加無料

作家二人による書に関するフリートークと、
各作家の作品解説会をお楽しみください。

※ギャラリーにご来館かお電話(0258-84-7755)でお申し込みください。

みつけ市民ギャラリー

ギャラリー みつけ



〒954-0059 新潟県見附市昭和町 2-4-1 Tel 0258-84-7755
Fax 0258-84-7735 <https://www.gallery-mitsuke.com/>

会期中、このチラシをご提示いただくと、ギャラリー喫茶のドリンク・アイスのいずれかおひとつ 50 円引きとなります。(2名様まで) 一部作品と書籍の販売を行います。お支払いは現金のみとなります。販売時間は 10:00-17:30。

上：木原光威 《サクトロウの行間(赤)》 2024 138×138cm
下：若林溪竹 《蘇東坡詩》部分 2025 180×180cm



余白と充満

新潟県内で精力的に活動する二人の書家、木原光威と若林溪竹の展覧会を開催する。書について長く研鑽を重ねてきた彼らは今、自由な発想で書に向き合っている。紙と墨から生まれる間、意思を持った文字、日々書くことを止めない二人の世界を会場で体感いただきたい。

「書で表現することが自分の手段ですから、興味のあることや面白いとか美しいとかいう感動や、勿論元々自分の中にあるアイデアや問題意識、時代的なこと、社会的なことを見渡す中で、それを自分の制作する『書』にマッチさせることに腐心することが多いです。具体的な誰かの心に刺さるものを意識して自分を表出したいと願ってコンセプトを練っていますし、出来れば奥行きがあったて強いものを創りたいと願っています。この度は、ご縁があったギャラリーみつつけ様にて、盟友若林溪竹氏との二人展の機会を頂きました。たいへん嬉しく有り難いことです。なんとか今の精一杯のものを披露したいと思っております。」

木原 光威

「書きたいモノを書く。いま書きたいものを書く、楽しいから書く。書くことが苦しい事も時にあるが、今日も書いています。習字から『書』へ、飽きもせず反故の山を。しかしこんなにオモシロイ仕事はない、だからまた明日も書く。今回、図らずも書友・木原さんとのコラボ展を開催する機会を頂きました。『魅せる書』をコンセプトに制作しましたが如何に？」

林之奈水閣主人・溪竹

木原光威 × 若林溪竹 展

2025年5月31日(土) - 6月29日(日)

開館時間: 10:00 - 20:00 (入館受付 19:30 まで)

休館日: 月曜日

会場: みつけ市民ギャラリー(ギャラリーみつつけ) 2階フロア

木原光威: 1961 三条市に生まれる。1984 新潟大学教育学部書道科卒業。1993 書道研究グループ「徹」に参加 (～2001年)。1999 「木原光威書展」/ 加茂市 うのもりや。2004 「木原光威展」/ 新潟市西蒲区岩室 浄専寺。2005 「ソウル書芸ビエンナーレ」出品/ 韓国。2007 「新潟現代の書展」参加/ 弥彦村。



上から 木原光威 《箱》 2022 140×101cm



《表裏(櫛)》 2021 24.2×33.3cm (12枚組) 127×120cm

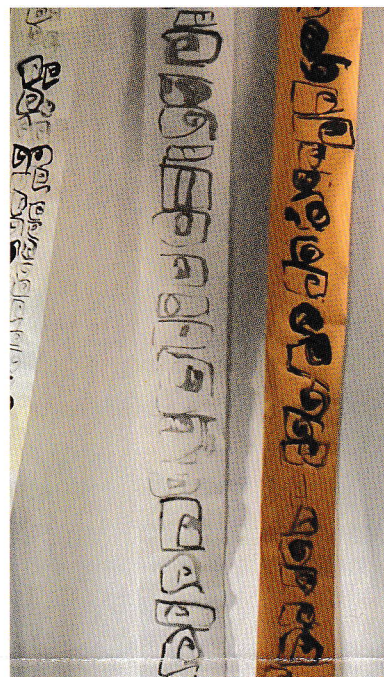
2008 「日本現代書展ヨーロッパ巡回展」出品/ スイス・ブルガリア。2011 第4回「釜山書芸ビエンナーレ」出品/ 韓国。2013 「TOKYO 書 2013・公募団体の今」大作品/ 東京 東京都美術館。2018 ジャポニスム 2018 参加企画 「Japan's soul」出品/ パリ。 「ART SHODO」出品/ 東京 三鷹市芸術文化センター。2022 「ART SHODO NEXT・Tokyo Shodo Week」に特別出品/ 東京 三鷹市芸術文化センター。木原光威展「書の彷徨」/ 新潟市 ART ギャラリー HAFU。木原光威書展「あるひとつのカタチ」/ 新潟市 / 編屋。2024 木原光威原書展/ 新潟市 ART ギャラリー HAFU。

主な受賞歴、「第7回スミワングランプリ」(東京) 1位入賞、「第12回スミワングランプリグランドチャンピオン大会」入賞 (Haru Yamaguchi 賞)、安芸全国書展文部科学大臣賞 (最高賞/ 安芸市立書道美術館収蔵)。

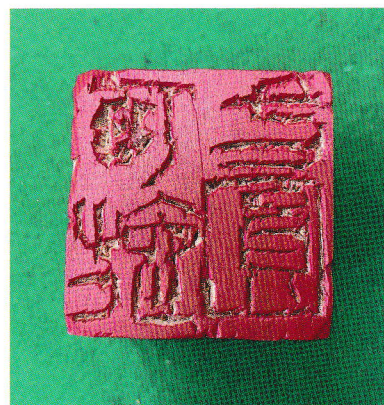
現在、現日会副理事長、太空会副会長、新潟県書道協会副理事長、新潟県美術家連盟理事、書道研究洗心書院主宰、書道雑誌「太空」編集人。三条市在住。

若林溪竹: 1962 見附市に生まれる。1979 第34回新潟県美術展覧会(県展) 初入選。1995・96 第27・28回日本美術展覧会(日展) 入選。2003 個展「自我作古」/ 新潟市 イタリア軒画廊。2008 個展「回回」一墨にあそばれー/ 長岡市 新潟県立近代美術館ギャラリー。2010・11 「韓・中・日 国際篆刻交流展」出品/ 韓国 順天文化藝術会館。2011 個展「きのうの書、きょうの書」/ 見附市 グランドール四季亭。2017 「青春春静x若林溪竹 言の葉書展」/ 見附市 みつけ市民ギャラリー (ギャラリーみつつけ)。2019 第48回新潟県芸術美術展(芸展) 新潟日報大賞受賞。会員推挙。2020 個展「若林溪竹書展 春信」/ 見附市 みつけ市民ギャラリー (ギャラリーみつつけ)。2023 第77回県展 県展賞受賞。2024 第78回県展 無鑑査出品。

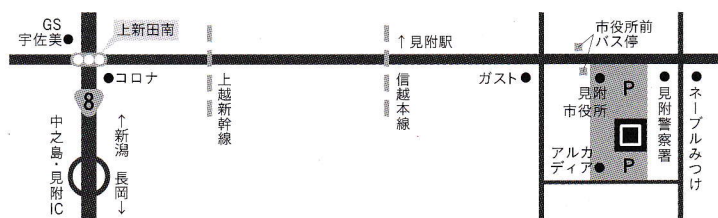
現在、新潟県書道協会理事、新潟県美術家連盟常務理事、日本書法教育会常任理事、新潟県展無鑑査、見附市展無鑑査、見附市美術協会会員、文字のあとろえ心齋主宰。見附市在住。



上から 若林溪竹 《回回》部分



2025 20×400cm 《方圓可施》 2025 6×6cm



みつつけ市民ギャラリー

ギャラリーみつつけ

〒954-0059 新潟県見附市昭和町 2-4-1 Tel 0258-84-7755

Fax 0258-84-7735 <https://www.gallery-mitsuke.com/>

北陸自動車道「中之島・見附 IC」から車で5分。駐車場完備。

JR 見附駅から見附市コミュニティバスで「市役所前」下車 徒歩1分。(乗車料 100 円)